

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

koharubiyori
VOL. 64

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



チーム医療のご紹介：～患者さんの心臓を守るハートチーム～

- Index**
- P1-2 ハートチーム集合写真
ハートチームのご紹介
 - P3 診療科紹介「救急科」
 - P4 ドクターズカルテ、研修医紹介
 - P5 東洋医学公開講座のご案内
医療安全管理部だより No.55
転入・転出医師 (2024.6.1～2024.8.31)
 - P6-7 愛媛県立中央病院のご紹介
 - P8 連携医療機関紹介～第35回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2024年8月31日発行



愛媛県立中央病院





愛媛県中 Heart team

皆様は、「ハートチーム」という言葉をこれまでに耳にされたことがあるでしょうか？

「ハートチーム」とは、心臓病に関する専門的な医療知識を持つ複数の医師や医療従事者が連携して治療計画を立て、患者さんお一人お一人に最適な治療法を提供するために活動するプロフェッショナルの集まりです。



▲経皮的僧帽弁クリップ術（マイトラクリップ）

心房細動による脳梗塞の予防治療：経皮的左心耳閉鎖術

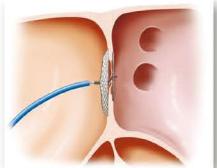


WATCHMAN (ウォッチマン)

左心耳への留置

▲血栓のできる左心耳を閉鎖することで脳梗塞のリスクを低減し、抗凝固薬の服用を中止することが可能となります。

卵円孔開存が原因の脳梗塞に対するカテーテル治療



右心房▶

◀左心房

AMPLATZER PFO オクルーダーによる卵円孔閉鎖術

▲卵円孔開存は成人の4人に1人に認められ脳梗塞の原因となります。専用のデバイスを用い閉鎖することでその再発を予防します。

これまで開胸して外科的に弁を取り替えるしか治療法がなかった心臓弁膜症（大動脈弁狭窄症）の低侵襲治療として、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI : タビ）が日本に導入された2013年頃から、その重要性が広く認識されるようになりました。

具体的には医師（内科医、外科医、麻酔科医）と看護師、臨床工学技士、放射線技師、リハビリスタッフなどが集まって、患者さんの状態を踏まえながら開胸手術が良いか、カテーテル治療が良いか、もしくは薬物療法が適しているなどを議論し、患者さんに治療計画を提案させていただいております。



▲経皮的僧帽弁クリップ術（マイトラクリップ）100例達成！

現在では弁膜症以外の難しい心臓病治療やカテーテルを用いた脳梗塞予防治療（上図参照）にも、このような「ハートチーム」のアプローチがとられ、治療がより安全となり合併症のリスクも減ることで、安心して治療に取り組んでいただくことが可能となっています。

私たち「ハートチーム」メンバーは、患者さんの心臓と健康を守り、質の高い医療サービスを提供することを誇りに活動しております。「ハートチーム」という名前に、患者さんに対する思いやりや温かさを感じていただき、信頼されるチームになるよう全力で取り組んでまいります。

診療科紹介 救急科



愛媛県立中央病院に救命救急センターが設立されたのは1981年ですが、救急科は2003年に立ち上った比較的新しい診療科です。現在は馬越健介救命救急センター長のもと、11名の医師が担当しています。

① 病院前医療

早期医療介入による重症患者さんの救命率の向上を目指します。

- ・ドクターヘリ：基地病院として県内の消防・医療機関と連携
 - ・ドクターカー：夜間や天候不良時にドクターヘリを補完
 - ・ワークステーション救急隊と医師同乗出動：松山市消防局と連携
- また、当院は「基幹災害拠点病院」に指定されており、救急科スタッフのほとんどがDMAT (Disaster Medical Assistance Team : 災害派遣医療チーム) 隊員です。東南海・南海地震や原子力災害などに備え、災害医療体制の強化にも取り組んでいます。



② 初期救命診療

初療室（3次救急外来）で救命救急センターとして愛媛県全域から重症救急患者さんを受け入れ、各専門診療科とともに診療を行っています。このうち、多発外傷、敗血症、広範囲熱傷、急性中毒、体温異常、低酸素脳症などは救急科が担当科として入院対応します。

③ 集中治療

外来診療に引き続き、救命センターICU/HCUでの診療にも携わっています。人工呼吸器や体外循環装置がついている患者さんであっても、急性期から「食べる」「寝る」「動く」をモットーとした医療を提供することで、重症患者さんの長期予後の改善に多職種と連携しながら取り組んでいます。

④ 院内救急対応

患者さんの急変に対して早期に介入できる体制を担い、各診療科と協力して院内の医療安全に貢献しています。



▲集中治療室での診療の一コマ

◀ドクターヘリ（当院の屋上ヘリポートでフライタースタッフと）



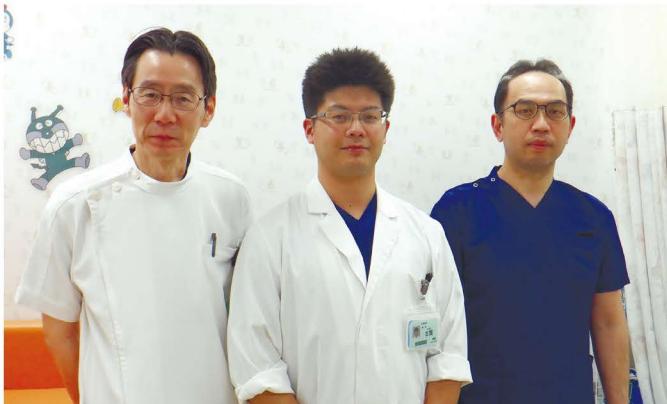
ドクターズカルテ

Doctor

こがこが
小児外科 古賀しょうま 翔馬医師

今年の4月に赴任してまいりました小児外科の古賀と申します。出身は北九州で、九州大学を卒業後に母校の小児外科に入局しました。愛媛に住むのは初めてですが、学生の時に愛媛大学のラグビー部と毎年交流戦を行っていたので、当時のことを懐かしく思いながら過ごしています。小児外科で扱う領域は、鼠径ヘルニアや急性虫垂炎のような一般的な疾患から、新生児の手術、肝胆道系の手術、腫瘍の手術など多岐にわたります。お子さんとそのご家族が手術という非日常に向き合うにあたり、少しでも安心して医療を受けられるよう努めたいと思います。

私生活では、2歳の子、愛媛に来た直後に生まれた子と過ごしていますが、松山市は児童館など子育て環境が充実していると感じています。また、これまで住んだことのあるどの県よりも充実した温泉や美味しい食事にも大変満足しています。愛媛県の子どもの医療に少しでも貢献したいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



▲小児外科メンバー（中央）



▲子どもと一緒に出かけ

当院の研修医を紹介します

1年次研修医 井上 沙枝医師
いのうえ さえ
Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

仕事終わりにはよく同期と食事に行き、楽しんでいます。美術館や博物館、手作り体験などが好きなので休日には県内・県外問わずこれらの施設に出かけ、リフレッシュしています。また、野球観戦も好きでよく球場に通っています。

日頃気を付けていることは何ですか？

普段の生活では、睡眠を十分とるように心がけています。診療において最高のパフォーマンスを発揮できるよう体調に気を付けています。

今後の目標は何ですか？

研修医として働き始めて早くも3か月が経ちました。自分の未熟さに落ち込むこともありますが、日々学びを得てぐんぐん成長しているのを感じます。これからも知識を身に付け、当院の医療に貢献できればと考えています。



▲職場の風景



▲野球観戦



東洋医学公開講座のご案内

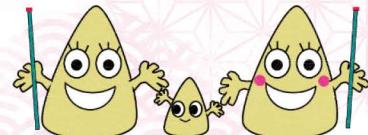
当治療室で実施している治療の紹介のほか、自宅でできる養生法、ツボ押しなどの体験を参加者のみなさんと一緒に楽しんでいます。案内は院内掲示やホームページにて随時更新しております。みなさんのご参加お待ちしております。

【日程と内容】

	開催日	内 容
第47回	令和6年 11月11日(月)	東洋医学と睡眠
第48回	令和7年 1月20日(月)	東洋医学と感染症 ～風邪・コロナ～



▲公開講座の様子



鍼灸治療室マスコット

【時間】 13:30~14:30 (当日受付 13:00 より)

【会場】 愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂

【定員】 50名 (参加費無料) ※事前申込が必要です。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉 鍼灸治療室 ☎089-947-1111(代表)

No.55

医療安全管理部だより

グルコース測定器「リブレ」貼ったままでは画像検査できないの??

持続グルコース測定器「FreeStyle リブレ」は血糖の変化をいつでも・どこでも測定することができる医療機器です。測定するためのセンサーは二の腕うしろ側にシールのように装着し、服を着ても目立ちません。

とても便利な機器なのですが、センサー自体が「放射線を利用した検査・治療によって影響を受けてしまうかどうか」について確かな検証が行われていません。

そのため当院では、「FreeStyle リブレ」を装着されている患者さんには取り外して放射線検査・治療を受けていただくこととしております。装着中の患者さんにおかれましてはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

※MRI検査は「放射線を利用した検査ではありません」が、センサーに金属が含まれているため、取り外して検査を受けることをお願いしております。

関連する検査
治療

- X線撮影
- 骨密度検査
- CT検査
- 血管造影検査、血管内治療
- MRI検査
- PET-CT検査 など
- 透視検査



転入・転出医師 (2024.6.1~2024.8.31)

▶
転入

所属	氏名	専門
呼吸器内科	中村 尚季	呼吸器疾患全般
呼吸器外科	田邊 慶太郎	呼吸器外科全般
産婦人科	井上 奈美	産婦人科一般
麻酔科	品川 育代	麻酔一般
麻酔科	佐々木 凜来	専攻医

▶
転出

所属	氏名
麻酔科	入澤 友美
新生児内科	木内 拓海
産婦人科	島瀬 奈津子

愛媛県立中央病院 のご紹介

※表記のないところは 2023 年度集計

医師・歯科医師数



305 人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)

※2024年4月1日現在

看護師数



821 人

(正規職員のみ)

※2024年4月1日現在

専門・認定看護師数

24 人

病床数



827 床

※許可病床数

救急受診者数

5,669 人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,868 件

※3次救急 等

入院延患者数

182,606 人

新入院患者数 **16,283** 人

1日平均患者数 **44.5** 人

外来延患者数

317,678 人

1日平均患者数 **1,307.3** 人

紹介患者数（初診のみ）

16,617 人

紹介率 **80.0** %

逆紹介率 **121.9** %

平均在院日数

10.4 日

ドクターヘリ出動件数

284 件



年間手術件数

7,999 件

※手術室実施・算定分

外来化学療法年間実施件数

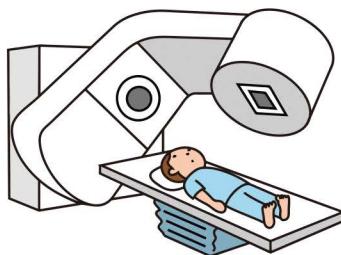
10,016 件

PET-CT 検査件数

2,711 件

放射線治療件数

8,568 件



ロボット支援手術件数

418 件

※実施件数



手術支援ロボット

分娩数

819 件



MRI 検査件数

11,318 件



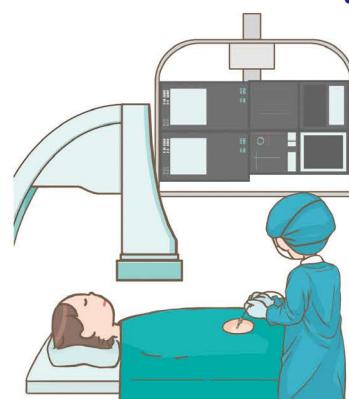
内視鏡検査件数

8,916 件



血管・心臓カテーテル検査総件数

2,341 件



リハビリテーション実施患者数

3,260 人

連携医療機関紹介～第35回～

なのはなこども医院

- 所在地 伊予市下吾川1002番1
- TEL 089-993-7087 ■FAX 089-993-7086
- 診療科目 小児科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○ ※1	○	○	○ ※1	×
14:00～18:00 ※2	○	○	×	○	○	×	×

※1 9:00～10:00は検診・予防接種（予約制）、土曜の一般診療は13:00まで

※2 14:00～15:00は検診・予防接種（予約制）

【病院の概要】2023年5月に開院した小児科クリニックです。

国道56号から県道23号伊予川内線に入ってすぐ右手にあり、伊予鉄郡中線「新川駅」からは徒歩10分です。

【病院の特徴】育児支援に力を入れており、特に初めての育児を経験するご家族にはやさしく丁寧な説明を心がけています。院内感染対策として、感染症状がある患者様は受付終了後6室ある個室にご案内し、問診から診察、処置、会計まですべて同室で行うほか、Web予約・問診の導入で院内待ち時間の短縮を図っています。小児の各種疾患に幅広く対応しておりますが、専門診療や入院が必要な場合は基幹病院に紹介しています。地域のかかりつけ小児科として、安心して受診していただけるクリニックを目指しています。



乳腺クリニック・道後

- 所在地 松山市勝山町2丁目9-10
- TEL 089-913-7007 ■FAX 089-913-7008
- 診療科目 乳房外科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日・その他（ホームページをご参照ください）

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30 (受付は8:30～11:30)	○	○	○ 完全 予約制	○	○	○ 完全 予約制	×
14:30～18:30 (受付は14:00～17:00)	○	○	×	○	○	×	×

【病院の概要】当クリニックは地域に密着した乳腺専門クリニックとして、乳房のお悩みにお応えします。私たちはあなたと、あなたの大切な家族を守るために乳がんの早期発見・早期治癒を目指します。また、乳腺症や乳腺炎などの良性疾患の治療もご相談ください。

【病院の特徴】近年、乳がんの罹患率は上昇の一途をたどっており、最新のデータでは年間約10万人が乳がんと診断され、約1万5千人の方が亡くなっています。乳がんは罹患率、死亡率ともに我が国の女性の1位であり、9人にひとりが乳がんに罹るとされています。しかし、乳がんは早期発見し、適切な治療を受けていただければ治る病気です。少しでも異常を感じたら、また無症状なら検診として定期的に当院を受診してください。乳がんと診断されれば、迅速に「愛媛県立中央病院」をはじめ適切な医療を受けられる「がん診療連携拠点病院」に紹介し、スムーズに治療へ進めるようにしています。また、術後の定期的な経過観察も行っています。松山市のがん検診無料クーポンにも対応しています。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を隨時紹介させていただきます。
(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

